

新発田市 令和6年度 臨時記者会見

1 日 時 令和7年1月24日(金)午後3時～

2 場 所 ヨリネスしばた503・504会議室

3 内 容

【市長発表項目】

新発田版 物価高騰対応総合経済対策

あいさつ

○昨年末に国が予算化いたしました「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の活用について、午前中に市議会臨時会を開催し承認をいただいたところであります。議会との日程調整で、何とか1月中に開催できないかとお願ひして、本日議会を開いていただきました。というのも12月定例会において低所得者の物価高騰交付金の可決をいただき、なんとしても物価高騰で苦しんでいる市民の皆さん、とりわけ低所得者の皆さんに年内に支給しなさいと指示をして、本日で支給が終わりました。このことは、新潟県内でトップだろうと思います。そこを受けて今日の新発田版物価高騰対応臨時交付金、そして新年度予算案と切れ目なくしっかりと市民の皆さんの後押しをしていきたいという思いで予算を作らせていただきました。

それでは対策内容を説明いたします。

はじめに、「地域経済の成長、生産性向上等に向けた取組のうち、農業関連」についてです。

【水稻農家及び畜産農家への支援(燃油価格高騰対策緊急支援事業)】

- 当市の基幹産業である農業におきましても、肥料や飼料、光熱動力費などの高騰が続いており、農家の皆様も大変苦勞されているところであります。

- この度の支援では、肥料等の高騰が大きな負担となっている畜産農家、及び、主食用米の価格が上昇したものの、まだまだ経営が不安定である水稻農家の非主食用米（加工用米、輸出用米）の生産者の皆様に対し支援を行います。

- これまでも、コロナ禍が惹き起こした外食需要の減少と、これによる市場価格の不安定化、また、高温や天候不順などによる品質低下や収量の減少、昨年令和の米騒動など、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いております。

- このような中でも、次期作に前向きに取り組もうと頑張っておられる生産者の皆様に対し、その経営規模に応じた支援を行うことといたします。

- 未来は、いつの時代でも現場から生まれます。農林水産業の未来を切り拓こうと、直面する課題の克服に立ち向かう現場の皆様の、あと一歩の後押しを私どもがお手伝いすることで、持続可能な農業を確立してまいりたいと考えているところであります。

次に、「観光関連」についてです。

【今・得キャンペーン 2025 宿泊プラン(緊急経済対策事業)】

- 宿泊事業者や観光宿泊者への支援としまして、今・得キャンペーン 2025 宿泊プランを実施いたします。今回は、2万泊分の宿泊支援を2回に分けての実施を予定しております。

- 1回目は、2月24日（月）から4月25日（金）宿泊分までの2か月間とし、2月7日（金）から販売を開始いたします。2回目は、5月中旬から7月中旬までを予定しております。

- いずれも、正月やゴールデンウィーク明けの閑散期を狙い、切れ目なく月岡温泉や市内旅館・ホテルの宿泊需要が継続していくことを狙った支援であります。

- 今回のキャンペーンでは、対象プランの御利用で、1人1泊3,000円を割り引くほか、これから旬を迎える新発田産越後姫や、新発田^{うし}牛を使った特別な宿泊プランをを御用意いたします。

- コロナ禍以降、資材や食材、エネルギーなどの価格が高騰し続けております。当市の重要な観光産業である月岡温泉をはじめ、市内旅館・ホテルをしっかりと支援していくことで、宿泊業におけるサプライチェーンを支え、地域経済や観光需要の活性化を図ってまいります。

次に、「商工業関連」についてです。

【キャッシュレス決済導入補助金(緊急経済対策事業)】

- はじめに、「キャッシュレス決済導入補助金」であります。これは、キャッシュレス決済が一般的な決済方法となっている中、コスト面から導入に後ろ向きな小規模小売店が一定数あることから、導入の取組を後押しするものであります。

- 導入に係る経費の4分の3を支援し、補助金の上限を3万円としております。

- キャッシュレス決済導入に関して不安がある事業者の皆様には、第四北越銀行をはじめとする市内金融機関と連携し、導入に係る相談会やサポートも行います。

- この制度により、人件費高騰にあえぐ事業者の業務効率化、経営改善に向けた取組を後押ししながら、市内産業の体質改善にもつなげてまいりたいと考えております。

【新発田産食材消費拡大応援金(緊急経済対策事業)】

- 次に、「新発田産食材消費拡大応援金」についてです。これは、新発田産食材の魅力を発信し、消費を拡大することを目的としており、事業者の皆様はもとより、生産者の皆様にも幅広く支援することとしております。
- 対象食材は、当市イチオシの食材である「にいがた和牛 新発田^{うし}牛」、「北越後パイオニアポーク」、「越後もちぶた(和豚もちぶた)」、「新発田産米」、「越後姫」、「アスパラガス」の6種類です。
- これらの新発田産食材を加工、または調理し、消費者に販売若しくは提供する飲食事業者の皆様に対し、食材購入費の2分の1、上限3万円を補助いたします。
- 飲食店や菓子店、食品加工業の皆様におかれましては、この応援金を積極的に活用いただき、新発田の新たな食の魅力を発信していただければと期待しております。

【新発田地域応援商品券】

- はじめに、「新発田地域応援商品券」として、30%のプレミアムが付いた商品券を2月20日から販売します。使用期間は6月30日までとなります。

【新発田市消費喚起キャンペーン実施補助金(緊急経済対策事業)】

- 次に、「新発田市消費喚起キャンペーン実施補助金」についてです。これは、営業利益の減少や需要の低迷に苦しむ市内の2事業者以上で構成される組合・団体等に対して、消費喚起や需要拡大キャンペーンの実施経費を補助するものです。
- この補助金は割引分の補填やスタンプラリーの景品購入代など、需要喚起キャンペーンに係る幅広い費用を対象とします。

○補助率は10分の10で、上限額は100万円であり、組合・団体等に構成される1事業者当たりの上限額は中小事業者が10万円、小規模事業者が20万円となっております。

○この後に御紹介する、新発田地域応援商品券との相乗効果により、一層の消費回復を図り、地域経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。

【新発田市地域応援商品券(緊急経済対策事業)】

○商工業関連の最後は、「新発田市地域応援商品券」についてです。

○商品券は大変好評で、コロナ禍から数えると今回は8回目となりますが、前回、昨年2月に実施した発行冊数と同じく過去最大級の35,000冊とし、30%のプレミアム付きで1冊6,500円分を5,000円で販売いたします。

○商品券の内訳は、大型店・地元専門店ともに使用可能な共通券が6枚、地元専門店のみで使用可能な専門券が7枚の計13枚となります。

○販売場所は、市内セブンイレブン各店とし、広報しばた3月3日号の購入券で市内在住の各世帯、1世帯あたり2冊まで購入できます。

○より多くの方に、お気軽に、そしてお得に購入いただき、家計応援や消費喚起による経済の活性化を図ってまいります。

次に、「小・中学校、保育園等の給食食材高騰対策」についてです。

【学校給食食材費高騰緊急支援事業、保育園等給食食材費高騰緊急支援事業】

- 今年度、当市では、急激な物価高騰に伴い、令和5年度に引き続き、給食単価の値上げ改定を行ったところでありますが、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、値上げ改定分について、公費による支援を実施しております。

- 令和7年度の学校給食費は、今年11月以降、学校給食用の精米の価格が上昇していることに加え、物価高騰による給食食材費の値上がりが続いており、現在の給食費で質・量を維持しつつ給食を提供することは、非常に難しい状況であります。

- このことから、値上げ改定を行わざるを得ない状況ではありますが、子育て世帯の経済的負担の激変緩和措置として、令和7年度においても、値上げ相当分の支援を実施いたします。

- 「子育てするならやっぱり新発田」の旗印のもと、子ども達へ栄養バランスのよい給食を提供することで、子ども達の食育や健康促進に寄与し、保護者の皆様に安心していただける教育環境、保育環境を提供してまいります。

最後に、参考ではありますが、低所得者世帯への給付金の支給状況についてです。

- 国の施策として、物価高により厳しい状況にある低所得世帯の皆様への支援として、1世帯あたり3万円、18歳以下のお子さんがある場合は1人あたり2万円を加算し、支給しているところであります。
- 苦しんでいる皆様のもとに、一刻でも早く支援の手を差し伸べたいという思いから、先の12月議会の初日に予算の採決をいただき、同月26日には628世帯の生活保護を受けておられる皆様へ振込を行い、本日、24日には、昨年と同様の給付金を受け取られた約6,300世帯の皆様へ振込が行われます。
- 県内では最も早い支給ではないかを見ているところです。今後は、新たに給付金の対象となる皆様からの申請を受け付けてまいります。引き続き迅速な支給に努め、物価高に苦しんでいる皆様の家計をできるだけ早く、そして、しっかりと支えてまいります。

本日お知らせする情報は以上になります。

経済対策につきましては、今、当市にとって最も必要とされているメニューを御用意したものであります。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。